

広島市植物公園 見どころ案内

皇帝ヒマワリ (キク科)

ヒマワリとは別属ですが、ヒマワリに似た外観で非常に大きくなることから皇帝ヒマワリと呼ばれます。ニトベギクの別名があります。

クリスマス飾る フラワー展

ポインセチアやクリスマスベゴニア、クリスマスローズなどクリスマスシーズンに見られる花と装飾を展示しています。

桃色イペー

(ノウゼンカズラ科)

枝先に紅紫色の花を咲かせています。熱帯、亜熱帯地方では街路樹や公園に植えられています。

材木は非常に固くて重いため、ウッドデッキなどに使われています。

ウナズキヒメフヨウ

(アオイ科)

中央アメリカ原産で、最初は花が上向きですが、大きくなるにつれて下向きになることから「うなずき」の名前が付いています。最後まで花が開ききることがないため、スリーピングハイビスカスとも呼ばれます。

雪吊り

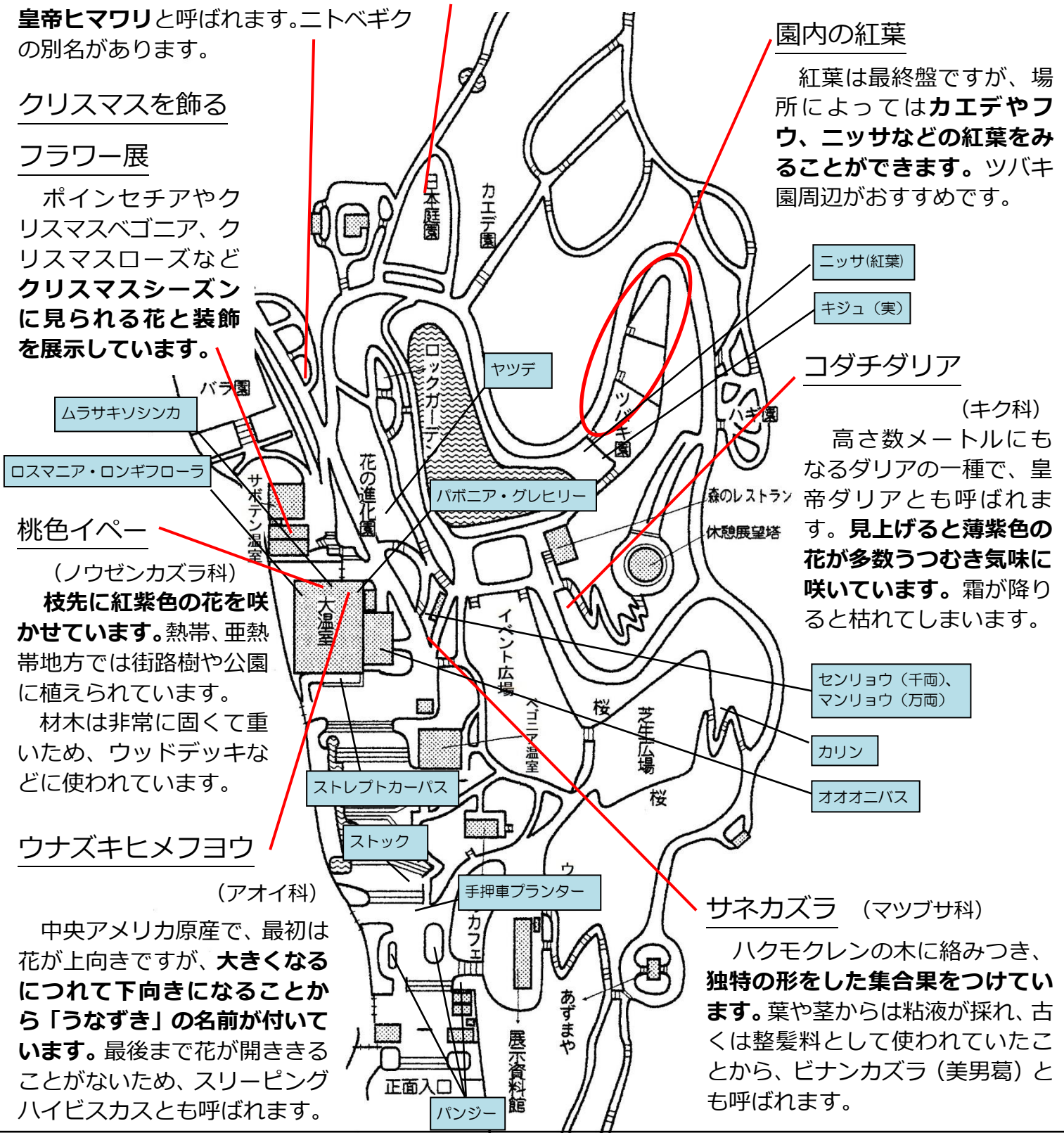
日本庭園に雪吊りが設置されています。本来は雪が多い地域で、枝が折れないようにするものですが、植物公園では観賞用として設置しています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (12/4~12/26)
植物公園コレクション展
- ◇展示温室 (11/20~12/25)
クリスマス飾るフラワー展

園内の紅葉

紅葉は最終盤ですが、場所によってはカエデやフウ、ニッサなどの紅葉をみることができます。ツバキ園周辺がおすすめです。



コダチダリア

(キク科)

高さ数メートルにもなるダリアの一種で、皇帝ダリアとも呼ばれます。見上げると薄紫色の花が多数うつむき気味に咲いています。霜が降りると枯れてしまいます。

サネカズラ (マツブサ科)

ハクモクレンの木に絡みつき、独特の形をした集合果をつけています。葉や茎からは粘液が採れ、古くは整髪料として使われていたことから、ビナンカズラ(美男葛)とも呼ばれます。